

	防除時期		防除薬剤	水 100ℓ当 使用量	倍率	10a 当り 散布量	使用時期 又は 収穫前日数 (使用方法)	使用回数	対象病害虫
	ハウス	露地							
1	4/中旬 定植時	5/上旬 定植時	スタークル粒剤		2g/株		定植時 (植穴土壌混和)	1回	アブムシ類 コナジラミ類
2	5月 上旬	5月 下旬	アディオオン乳剤 ダコニール 1000	50ml 100ml	2,000倍 1,000倍	150ℓ	7日前まで 前日まで	3回以内 3回以内	アブラムシ類・キノメイカ うどんこ病
3	5月 中旬	6月 上旬	ウララ DF コサイド 3000	50g 50g	2,000倍 2,000倍	200ℓ	前日まで —	2回以内 —	アブラムシ類 軟腐病、黒腐病、 褐斑細菌病、 斑点細菌病
4	5月 下旬	6月 中旬	ダコニール 1000 チェス顆粒水和剤	100ml 20g	1,000倍 5,000倍	300ℓ	前日まで 前日まで	3回以内 2回以内	うどんこ病 アブラムシ類
5	6/上～ 6/中	6/下～ 7/上	プレバソンフロアブル5 コサイド 3000	100ml 50g	1,000倍 2,000倍	300ℓ	前日まで —	3回以内 —	ハモグリバエ類 軟腐病、黒腐病、 褐斑細菌病、 斑点細菌病
6	6月 下旬	7月 中旬	アルバリン顆粒水溶剤 ランマンフロアブル	50g 100ml	2,000倍 1,000倍	300ℓ	前日まで 前日まで	2回以内 4回以内	アブラムシ類 べと病
7	7月 上旬	7月 下旬	ウララ DF コサイド 3000	50g 50g	2,000倍 2,000倍	300ℓ	前日まで —	2回以内 —	アブラムシ類 軟腐病、黒腐病、 褐斑細菌病、 斑点細菌病
8	7月 中旬	8月 上旬	ジーファイン水和剤	100g	1,000倍	300ℓ	前日まで	—	うどんこ病、 軟腐病

目的	農薬名	倍率(水 1ℓ当たりの使用量)	使用時期	使用回数
着果促進	トマトトーン	50倍(20ml)	開花当日	花に1回

※トマトトーンを使用する場合は、倍率を守り使用してください。

※農薬散布の際は、展着剤にハイテンパワー(10,000倍希釈)を混用する。

※アディオオン乳剤の使用時期は収穫7日前のため散布時にあたっては注意する。

※ネキリムシ類の被害が心配される場合は、生育初期収穫開始7日前に「ガードベイトA」を10a当たり3kg株元散布する。

※樹勢が弱い場合は、農薬散布時にアミノメリット特青500倍またはハイプログリーン500倍を加用する。

※軟腐細菌病(果実の腐れ)の発生が多い場合は、「コサイド3000」「ジーファイン」に代えて

「スターナ水和剤」(1000倍・収穫前日・3回以内)を散布する。

※ダニが発生した場合は、「サフオイル乳剤」(300倍・収穫前日)を散布する。サフオイルは、うどんこ病、コナジラミ類、ハダニ類にも効果がある。

※うどんこ病が多く発生した場合は、「アミスター20フロアブル」(2,000倍・収穫前日・4回以内)を散布する。

※べと病が発生した場合は、「ランマンフロアブル」(1000倍・収穫前日・4回以内)を散布する。

当防除暦の複製・コピーを禁止します